

ヤングケアラーに関するアンケート調査結果について

(ヤングケアラー実態調査結果の概要)

令和3年11月

長野県教育委員会事務局心の支援課

1 調査の趣旨

高校生の生活実態と「ヤングケアラーと思われる子ども」の実態を把握し、早期に発見し対応できる仕組みづくりと支援策を検討することを目的に実施した。

2 調査方法

実施期間 令和3年9月3日～9月30日

(1) 学校調査：学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート

公立高等学校の各課程（全日・定時・通信制）の学校代表者がWeb調査に回答

(2) 生徒調査：高校生の生活実態に関するアンケート

公立高等学校の各課程（全日・定時・通信制）に在籍する生徒がWeb調査に回答

3 回答率

(1) 学校調査：学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート

学校種	調査対象数 (A)	有効回答数 (B)	回答率 (B/A)
全日制高校	79校	79	100%
定時制高校	20校	20	100%
通信制高校	3校	3	100%

※通信制高校については校数が少ないため、調査結果グラフから一部除外または参考データとして表示

(2) 生徒調査：高校生の生活実態に関するアンケート

学校種	調査対象数 (A)	有効回答数 (B)	回答率 (B/A)
全日制高校生	40,705人	12,036	29.6%
定時制高校生	1,659人	338	20.4%
通信制高校生	1,603人	95	5.93%

※通信制高校生については有効回答数が少ないため調査結果グラフから一部除外または参考データとして表示

4 結果の概要

- 「世話をしている家族がいる」と回答した生徒は、全日制高校生で2.1%、定時制高校生で3.8%となった。
- 「ヤングケアラーと自覚している」と回答した生徒は、全日制高校生で1.6%、定時制高校生で3.0%となった。
- 「ヤングケアラーについて聞いたことがない」と回答した生徒は、全日制高校生で67.5%、定時制高校生で82.0%となった。